

1 まえがき

社団法人セメント協会は、ポルトランドセメントおよび各種セメントの生産、流通および消費の増進ならびに改善を図り、わが国産業の発展と国民生活の向上に寄与することを目的として、1948年（昭和23年）に設立された。また、コンクリート専門委員会は、セメント・コンクリートの学術的・技術的調査・試験・研究やセメント・コンクリートの品質向上に関する事項について取り組むことを目的として、1951年（昭和26年）に旧社団法人日本セメント技術協会（昭和41年4月社団法人セメント協会に合併）の委員会の一つとして設置された。

本委員会では、現在まで60年間に亘り延べ400回を超える委員会活動を継続し、その成果を委員会報告として取りまとめ、これまでに合計56冊の報告書を発刊している。

委員会報告は、セメント・コンクリートの技術的課題に対応したテーマに取り組んだものであり、コンクリートの強度発現性、ひび割れ、耐久性およびリサイクル関連技術等、内容は多岐に亘っている。また、これらの報告書には、現在社会的に求められている情報やニーズも含んだ内容が数多く記載されており、現時点でもその技術的価値は減じていない。しかしながら、現状では、各報告書に記載された内容がセメントユーザーに対して十分に認知されているとは言い難い。そこで、これらの報告書を有効に活用してもらうことを目的として、既往報告書からエッセンスを抽出したダイジェスト版を刊行することとした。なお、本ダイジェスト版は以下の点に留意して取り纏めた。

- コンクリート専門委員会の委員会報告をメインに、適宜、他の技術専門委員会報告等も対象とした。
- 委員会報告は昭和28年から発刊されているが、規格等の違いにより、現状のセメントコンクリートの性状と大きく異なるデータは記載しなかった。
- 一般的なコンクリートの各種性状に関するデータを対象とし、舗装コンクリートは対象としなかった。また、コンクリート用骨材に関しては、石灰石骨材を使用したコンクリートも対象とした。
- コンクリートの各種性状毎に取り纏めたが、複数の報告書に記載されたデータを記載する場合は、それぞれの研究目的や試験条件を明確に記載した。
- セメントの種類がコンクリートの各種性状に及ぼす影響および各種セメントを使用したコンクリートの長期暴露試験結果をポイントに整理した。
- 原則として、各報告書中の図表を貼付するが、単位はSI単位に統一して記載した。

本報告「コンクリート専門委員会報告ダイジェスト版」の発刊を通じて、社団法人セメント協会の研究活動を改めて認知して頂き、これまでの活動成果が社会的に活用される機会が増大することに期待したい。